



山口祥義 佐賀県知事
に聞く

MOTE MOTE 14周年 特別企画

SAGA2024 国スポ・全障スポの開幕がいよいよ近づいてきました。国体から国スポに変わると、最初の大会を成功させ、未来にどうつなげていくのか。準備状況などを踏まえ、山口祥義知事にいまの思いを聞きました。

(聞き手・本誌発行人 橋詰空)

橋詰 ことし佐賀新聞は8月1日で創刊140周年、MOTEMOTEは8月2日で創刊14周年となります。その記念号の発行にあたり、いま県民のみならず、一番注目されているSAGA2024 国スポ・全障スポについて、知事ご自身からお話をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

山口知事 MOTEMOTEがのインタビューを受けるのは久しぶりです。きょうは読者のみなさんとお話をしている形で進めさせていただきます。

橋詰 それでは早速、これまでの取り組み状況からお聞かせください。

山口知事 SAGA2024は、国体から国スポに変わる最初の大会です。それを佐賀で開催できることになり、何より大切にしたいと思っただけは、県民のみならず「佐賀って楽しいな」とずっと思ってもらえる仕掛けをつくることでした。SAGA2024はあくまで通過点であり、そこから先が勝負だと考えました。そこで、これまで国体を開催してきた都道府県がやってきたことを、あえてやらないところからスタートしました。

SAGAアリーナ、SAGAアクアに重点投資

例えば、開会式を行う競技場。普通は大きな屋根で覆うところが多いのですが、そこに大きなお金はかけませんでした。水泳の飛び込みプールについても、維持費を考えると屋内ではなく屋外にさせてもらいました。また、実施競技のうち、馬術など一部の競技・種目は、施設整備のことを考えて県外の施設を使わせてもらうことにしました。そして、SAGAアリーナやSAGAアクアに重点投資することができました。

サンライズパークがずっと佐賀の皆さんに愛され、「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」のもと、みんながスポーツで盛り上って、稼いで、興奮するよう



国スポ 2024 10/5(土) ▶ 10/15(火)
会期前実施競技 (9/5(木) ▶ 9/17(火) 9/21(土) ▶ 10/1(火))
全障スポ 2024 10/26(土) ▶ 10/28(月)

※SSP構想：スポーツのチカラを活かした人づくり・地域づくりを行う佐賀県ならではの唯一無二の取り組み。トップアスリートの育成とスポーツ文化のすそ野の拡大を目指す。

SAGA2024を通過点として
ずっと楽しめる佐賀県に

1年空いたことで、B2やNiziUは、全国コンサートの初回にSAGAアリーナを選んでくれました。ユーマンも来てくれたし、羽生結弦さんの全国3カ所だけのアイスショーの会場にもなりました。SAGAアリーナの特徴は、迫力ある音響と映像の美しさが楽しめる、まさに「新時代のエンターテインメント」だという点です。そしてもう一つは、バスケットボールの佐賀パルナーズの目覚ましい躍進です。

SAGAアリーナがオープンした5月13日は、パルナーズのB2からB1への昇格を懸けたプレーオフセミファイナル初日と重なり、しかも勝利を収めてくれました。これは、計画していたことではもちろんなく、本当にすごいタイミングで佐賀パルナーズがSAGAアリーナとともに昇り龍のように成長してくれたのです。

昨季、パルナーズのB1初年度において、SAGAアリーナでのホームゲームの平均観客動員数は5000人を超え、B1所属24チーム中、堂々の5位でした。横浜や大阪よりも動員しているというところが証明されたんです。

若い人を含め、みんなが熱狂できるチームに育ち、しかもそれが、アリーナの完成とタイムリーにはまったことに私自身、興奮しています。

SAGAアリーナでみんなとハイタッチしていると、「佐賀いけるぜー」と思います。私はラグビーW杯の仕事などで、世界基準のアリーナをいっぱい見てきましたが、その素晴らしさを、佐賀の地で証明したかったので、本当によかったと思っています。

橋詰 SAGAアリーナは観客席も素晴らしいですね。山口知事 SAGAアリーナは、稼げるアリーナになっています。すべての席にドリンクホルダーがあり、3



Photograph : Kouji Okamoto

階のプレミアムフロアには飲食とともに社交の場としても楽しめる特別な空間もあります。そこで稼がれたお金をアスリートのみならず還元できる仕組みをつくろうとしています。アリーナの中に入っていただければ、そのよさが分かります。県民のみならずぜひ入っていただきたいと思っています。

橋詰 確かに。SAGAアリーナの観客席は、前の席との間が広く、席の前を飲み物や食べ物を持って歩くことができますね。

山口知事 世界のスポーツシーンでは、試合が始まる1時間半ぐらい前から来て飲食を楽しみ、それから試合に熱中します。SAGAアリーナならではの楽しみ方をぜひ体験してほしいと思います。

歩くライフスタイル定着へ

橋詰 佐賀の人は歩くことにあまり慣れていません。

SAGA 2024

国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

90点以上の方に
SAGA2024
グッズプレゼント!

SAGA2024イメージソング 「Batons～キミの夢が叶う時～」 カラオケチャレンジ!

応募期間 2024年7月5日(金) 13:00 ~ 8月16日(金) 23:59

参加資格 期間中に「DAM」または「JOYSOUND」
において90点以上の得点を取った方

表彰 すべての応募者に、認定書及びSAGA2024グッズを贈呈
します。
※9月中旬以降順次発送予定
高得点者は、8/31(土)のイベントで歌唱披露のチャンスも!
※Batonsカラオケチャレンジ歌唱披露
日時：8/31(土) 18:00~(予定) 場所：佐賀駅前交流広場

応募方法



お問い合わせ

佐賀県 SAGA2024 企画広報チーム
TEL : 0952-25-7553

応募・詳細は
こちらから



eスポーツの聖地を目指して

例えば、開会式では、これまで整然と隊列を組んで行進していたものを、もっと自由に楽しさあふれるパレードにしました。各都道府県のアピールタイムもあり参加する方も観る方も楽しめると思っています。一方、これまでやっていなかったナイトゲームを一部競技で導入し、表彰についても、国体でこれまで行われてきた都道府県対抗だけでなく、新記録やMVPなど選手個人やチームの活躍にも光をあて、全障スポでは、伴走者やボッチャのランブオペレーターといった選手と一心同体となって戦う仲間にもメダルが贈られます。スポーツをする人も、観る人も、支える人も、みんな一緒に盛り上げていこうという大会を目指します。国スポも、全障スポも、閉会式はSAGAアリーナですが、すごい演出を考えています。大会のさまざまなスポーツシーンを映像で流してみんなで盛り上がり、「いい大会だったね」と語り合えるようになればと思っています。



競技会場を訪れ、歴史の証人に

山口知事 SAGA2024は新しい大会です。「すべての人に、スポーツのチカラを。」のメッセージが表すところ、「する」「観る」「支える」スポーツの楽しみがあります。ぜひ、何らかの形で参加してください。競技会場の中には、お祭りのようにイベントを楽しめる場所もあります。ぜひ、様々な競技会場を訪れ、歴史の証人になっていただけたらと思います。



山口 祥義 やまぐち よしのり
1965年生まれ。東京大学法学部卒業後、旧自治省入省。内閣安全保障・危機管理室参事官補、総務省過疎対策室長等を務める。JTB総合研究所、ラグビーW杯2019組織委員会など民間でも活躍。2015年1月佐賀県知事に就任(現在3期目)。

JR佐賀駅からSAGAアリーナまでは、都会というイメージがあるかないかの距離ですが、駐車場が足りないとの声もありません。
山口知事 確かに佐賀のみなさんは、これまでどこに行くのも車で行く文化だったわけです。そこを未来に向けてどう変えていくか。今回のことは問題提起になったと思っています。SAGAアリーナでは大きなイベントができるけど、5000人とか8000人の駐車場をつくらなければならないのか。想像していただければ、分かると思います。パルンフェスタの時でさえ、車の渋滞により選手が河川敷の競技会場まで着けなくなったりしています。SAGAアリーナがある場所は、まさに佐賀の中心部。そこに何千台分の駐車場をつくらせようと、何時間も車が動かなくなるのが容易に想像できると思います。もちろん普段使っている駐車場はしっかり確保しています。
橋詰 佐賀県は、県公式アプリ「SAGA T O C O」の利用促進などで歩くライフスタイルの定着を目指されています。
山口知事 私は知事を10年やっていますが、佐賀の人の弱点は、歩かないことだと思っています。糖尿病や骨折の患者さんの割合は全国ワーストクラスを上下していますが、その大きな原因の一つは、歩かないことで身体機能が低下しているためです。こんなに素晴らしい佐賀だから、年齢を重ねても、自分の足でどこまでも歩ける健康を保ってほしい。駅周辺に車を止めてそこから歩いたり、バスに乗ったりしてみてください。歩く楽しさ、新しい佐賀の楽しみ方を知ってもらえればと思います。
新しい大会は、こう変わるー!



SAGA2024では、新たに「ナイトゲーム」を導入することが決まっています。昨年までの国体ではナイトゲームは行われておらず、従来のプログラムを一部変更し、できるだけ多くの人に観戦機会を提供するのが狙いです。夕方以降の時間帯なので、仕事や学校の帰りに競技会場に向かい、観戦・応援することもできそうです。

仕事帰りに観戦を 6競技にナイトゲームを導入

ボール、レスリング、スポーツクライミング、全障スポでは陸上、バレーボールが対象で、佐賀市や唐津市など4つの市の7つの会場で行われます。

全障スポ

陸上競技

1,500mほか
SAGAスタジアム

バレーボール (佐賀市)

準決勝 (身体障がい)
SAGAアリーナ

※競技時間は目安であり変更となる可能性があります。
※グレコローマンレスリングの6クラスは60kg、67kg、77kg、87kg、97kg、130kg

ナイトゲーム実施競技

国スポ

レスリング (嬉野市)
10/7 (月) 17:30~

成年男子 グレコローマンレスリング
6クラス決勝
女子 女子レスリング 62kg 決勝
U-Spo (嬉野市中央体育館)

バレーボール (佐賀市)
10/8 (火) 17:30~

成年女子 5・7位決定戦 第2試合
SAGAアリーナ

バスケットボール (唐津市)
10/10 (木) 18:00~

成年男子 1回戦
唐津市文化体育館
相知天徳の丘運動公園社会体育館
唐津工業高等学校体育館

スポーツクライミング (多久市)
10/12 (土) 18:30~

少年男子 リード 決勝
九州クライミングベースSAGA

「国スポチャンネル」を中心に競技動画配信を拡充

SAGA2024では、大会の盛り上げを図るため、オンラインによる競技の動画配信も拡充します。プラットフォームとなるのは、日本スポーツ協会が運営する「国スポチャンネル」(国体チャンネルから変更)。例年は、各競技の決勝を中心に配信が行われていましたが、国スポでは配信範囲を大きく広げ、各競技の佐賀県選手・チームが出場する試合や各競技の準々決勝以上の試合を中心に配信します。

また、全障スポでは、これまで競技の動画配信は行われていませんでしたが、SAGA2024では正式競技の全競技を配信します。こちらについては、SAGA2024のYouTube公式チャンネルを使います。

SAGA2024実行委員会事務局は、大会ボランティア「サガンティア」のサポートも受けながらリハーサル大会などで配信技術を高め、大会本番に備えます。



国スポチャンネルはこちら



9月号にもSAGA2024直前特集を掲載します

SAGA2024の全障スポでは、視覚障がいのある陸上選手の伴走者(ガイドランナー)やボッチャのランプオペレーターにも選手と同様にメダルを贈ります。全障スポでは佐賀県が初めての取り組みとなります。

また、この取り組みは、SAGA2024以降の開催地にも引き継がれます。

このほか、SAGA2024では、選手一人ひとりの活躍やがんばりにスポットをあてた表彰を行います。新記録、最高得点、MVPなど選手のプレーにも注目してください。

伴走者、ランプオペレーターにもメダルを授与



選手も観客も みんなで楽しむ開閉会式

SAGA2024では、開閉会式もこれまでと大きく変わります。エントランスの高い内容で、選手、観客など参加するみんなの心に残る式典になりそうです。

まず注目なのは、自由で楽しさあふれる選手団入場です。国体では都道府県選手団ごとの隊列行進が普通でしたが、オリンピックのような自由な入場にします。式典全体を一つの作品、楽曲のように音楽で彩り、これまでになく、新しいスポーツ大会らしい雰囲気をつくりだします。

東京五輪の桜のトーチをデザインした佐賀県出身の世界的デザイナー吉岡徳仁さんが世界に類を見ないガラスの炬火台、トーチを制作しており、スポーツの希望の炎を県内の競技開催市町に届ける「配火」にも注目です。みんなでつくる式典を目指しており、自発的に参加したパフォーマーらが盛り上げます。

閉会式は、国スポも全障スポもSAGAアリーナで開催。五感に訴える映像や照明、音響など華やかな演出でフィナーレを飾ります。

SAGA2024実行委員会事務局は「開閉会式もスポーツらしさをふんだんに取り入れていきます。みんなで一緒に盛り上がりましょう」と呼び掛けています。

SAGA2024 新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

「SAGA2024」は、“体育”から“スポーツ”に変わる大会で、佐賀は、そのはじまりの地となります。これまでなかった新たなチャレンジに取り組みます。

SAGA2024デザインで来県者を迎える雰囲気づくり

開閉会式会場や競技会場の装飾についても、新たな工夫を打ち出しています。

会場装飾は、SAGA2024らしさとスポーツのすばらしさを伝えるビジュアルデザインを基本にしており、開閉会式会場となるSAGAサンライズパークや各市町の競技会場だけでなく、駅や空港、街なかも含めてデザインやトーンを合わせ、一体感のある装飾で全国からの来場者を歓迎します。

会場装飾におけるデザインの構成要素は、実在するアスリートのシルエットをもとに制作したピクトグラムをはじめ、ピクトグラムに使用している5色のカラーやスポーツを構成する「カタチ」を用いた3種類のパターングラフィック、SAGA2024の大会ロゴです。それらを組み合わせた使用を基本としています。

JR佐賀駅からSAGAアリーナに向かうサンライズストリートでは、SAGA2024デザインによるバナーフラッグが目を引きいており、本番が間近に迫っていることを実感します。県民のみなさんが観戦・応援で各市町の会場を目指す際の目印にもなりそうです。



※5色のカラーやスポーツを構成する「カタチ」を用いた3種類のパターングラフィック(ドット:ボール、ストライプ:ライン、ジオメトリック:競技場等)

